

経営比較分析表（令和2年度決算）

長崎県長崎県病院企業団 上五島病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	対象	ド透未訓	救臨感へ災
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	13,954	-	第1種該当	10:1

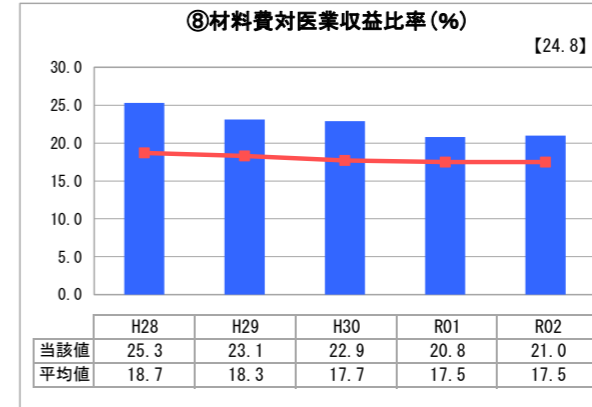
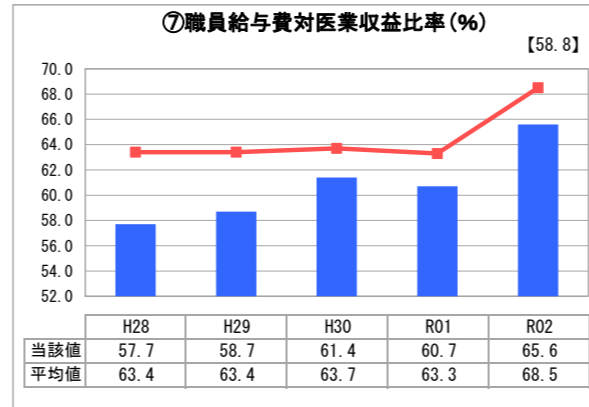
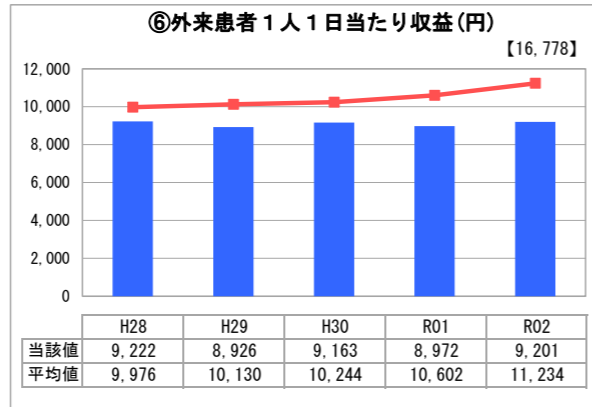
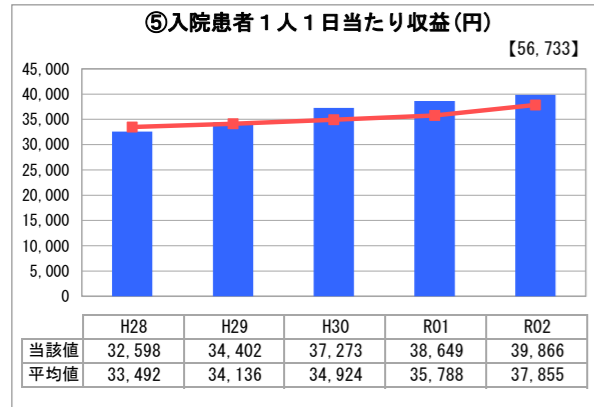
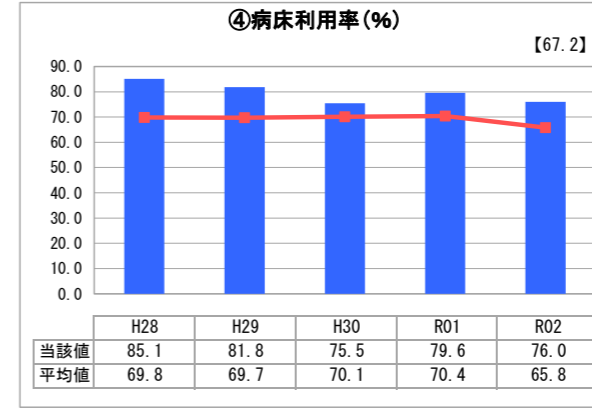
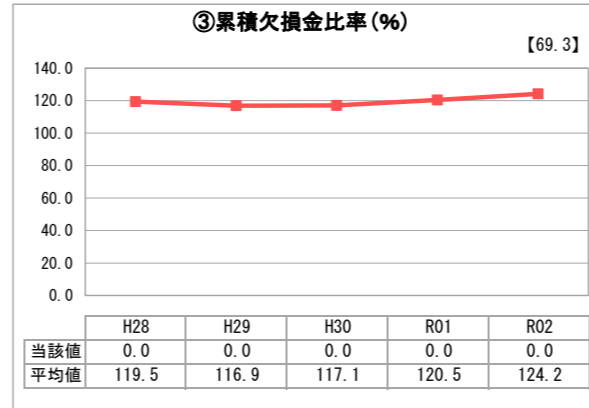
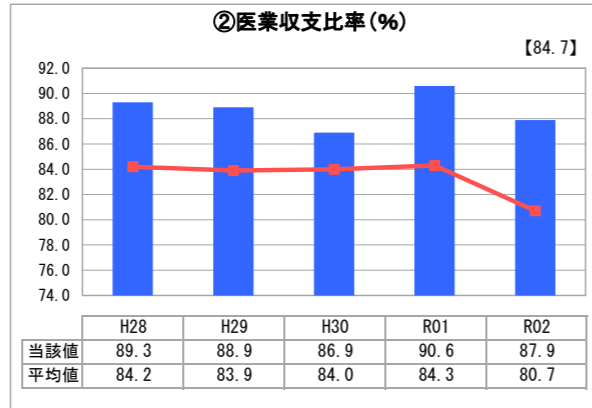
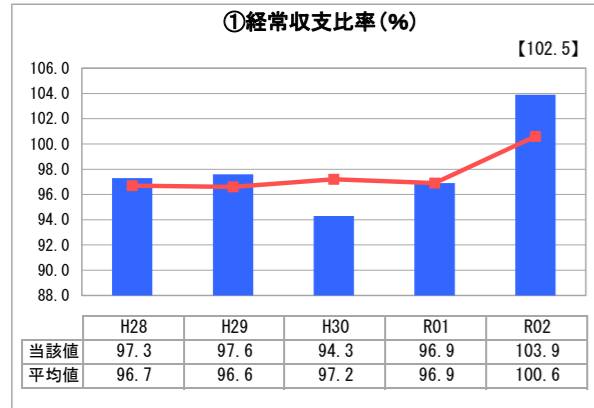
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
132	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	186
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
132	50	182

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

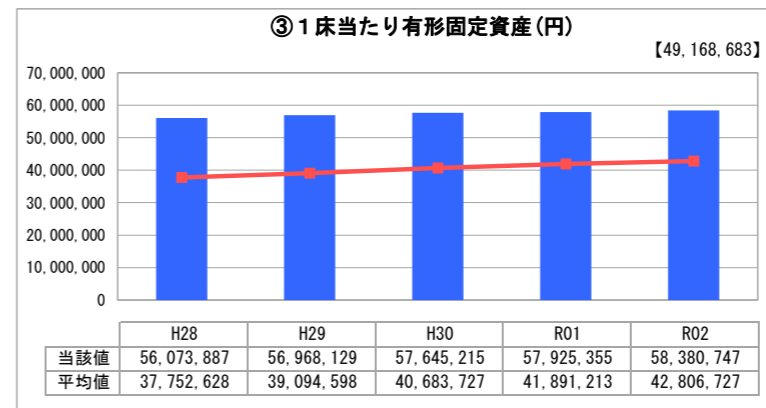
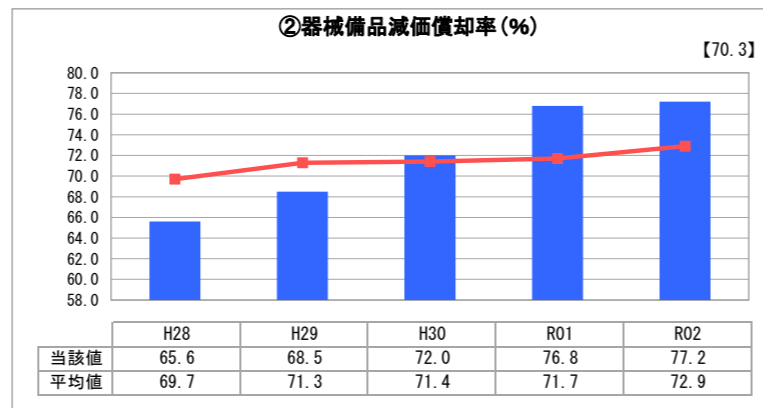
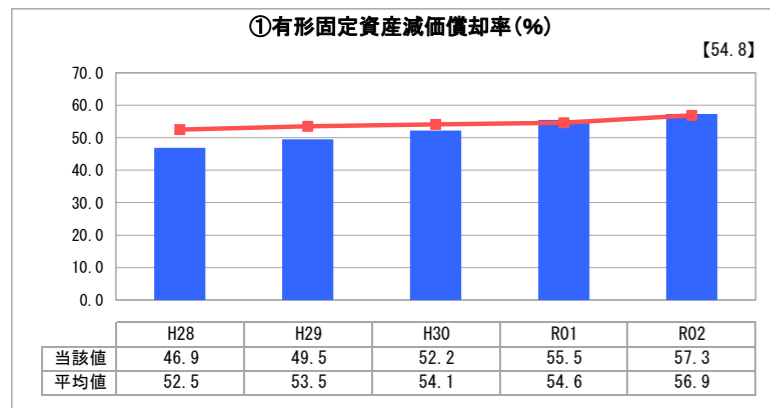
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

上五島医療圏で唯一の入院機能を有する中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療を提供している。
地域のニーズに合った病床機能への転換を行うとともに、基幹病院と附属診療所のそれぞれの医療機能の特徴を活かし、地域に信頼される安定的でより良い医療を目指している。
行政、他医療機関、介護施設等との連携を密にして地域医療・包括ケアの充実に努めている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度は繰入金増加や新型コロナウイルス感染症の補助金があり、経常収支比率は大きく改善し100%を上回った。しかし、入院・外来ともに患者数が減少し、病床確保対策のため一部の病床を運用できなかったこともあり、医業収益・病床利用率が悪化した。⑤入院患者1人1日当たり収益は、効率的なベッドコントロールによる入院料の単価上昇により増加、⑥外来患者1人1日当たり収益は平均値を下回ってはいるが、検査件数増によりそれぞれ増加している。⑦給与費対医業収益比率は4.9%悪化した。⑧材料費対医業収益比率は減少傾向であったが微増となった。

2. 老朽化の状況について

当院は昭和61年に建築されており、①有形固定資産減価償却率は増加傾向で老朽化が進んでいることが判断できる。②器械備品減価償却率、③1床当たり有形固定資産については平均値よりも高水準にある。経年劣化が著しい器械の更新や、この地域の二次医療までを担っていくための設備整備が必要であり、また業務効率化を図るための新規の器械導入を行なってきたためである。今後も過大投資とならないよう、経営状況を考慮しながら計画的に設備投資を行っていく。また、新病院建設に向けて病院機能・規模等の方向性を十分に検討していく必要がある。

全体総括

令和2年度は経常収支が黒字となったが、今後も医師を始め医療スタッフ確保のための費用や修繕・減価償却費が引き続き負担となることが予想される。費用面においては可能な限り材料費・経費の削減に努めるほか、業務改善による時間外勤務の削減等、組織全体で取り組んでいく必要がある。

人口減少・高齢化の影響もあり患者数は減少傾向にあるが、柔軟な受入れによる新規患者の確保や手術件数の増加を目指し、医業収益の改善に努める。また、地域住民の需要に応えながら医療の充実に努めつつ、経営の健全化を目指していく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。